

第3章 計画の基本的な考え方

1. 計画の基本理念

【だれもが健康で安心して暮らせるうわじま】

住み慣れた地域で健康で安心して暮らすことは、多くの高齢者の願いです。

本市では、高齢者福祉計画・介護保険事業計画を作成し、「だれもが健康で安心して暮らせるうわじま」の実現を基本理念とし、6つの基本目標を定め、具体的な施策を展開、推進します。

2. 計画の基本目標

基本理念の実現に向けて、以下6つの基本目標を掲げます。

基本目標 1	社会参加と生きがいをづくりの支援
--------	------------------

基本目標 2	健康づくり・介護予防の推進
--------	---------------

基本目標 3	住み慣れた地域で安心して暮らすための支援
--------	----------------------

基本目標 4	地域生活を支える体制の強化
--------	---------------

基本目標 5	尊厳あるくらしの支援
--------	------------

基本目標 6	地域で支えあうしくみづくり
--------	---------------

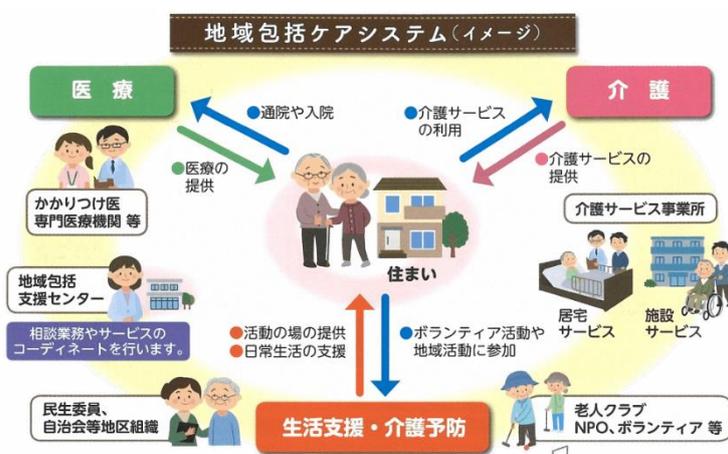
3. 施策体系図



4. 地域包括ケアシステムの推進

いわゆる団塊の世代のすべての方が75歳以上となる令和7(2025)年に向けて、市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」を、各地域の実情に応じて構築していくことが重要となっています。

第8期計画では、要支援・要介護者やその家族を地域で支えていくため、関係機関や事業者等と協働し、住まい・医療・介護・予防・生活支援のサービスが包括的に提供される地域包括ケアシステムの構築を、令和7(2025)年を目処に目指してきましたが、第9期計画においては、いわゆる団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22(2040)年も見据え、「地域包括ケアシステム」の深化・推進に取り組んでいきます。



(1) 認知症施策の推進

認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら、「共生」と「予防」を車の両輪として、①普及啓発・本人発信支援、②予防、③医療・ケア・介護サービス・介護者への支援、④認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援、⑤研究開発・産業促進・国際展開の5つの柱に基づき、認知症に関する相談・支援体制の強化や、認知症に関する正しい知識の啓発と「だんだんネットワーク」の周知に努めていきます。

(2) 介護予防・健康づくり施策の充実・推進(地域支援事業等の効果的な実施)

高齢者がいつまでも元気で、生涯にわたって活躍していただくためには、市民一人ひとりの健康づくりに対する意識の改善をはじめ、様々な健康課題の解決や疾病予防に取り組み、健康寿命の延伸を図ることが求められています。

そのため「生き生き教室」や「うわじまガイヤ健康体操」等の更なる充実や、介護予防ボランティアの育成・支援、通いの場等への積極的な関与を行うことで高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業の推進を図ります。また、高齢者のデジタルデバイドの解消とデジタル技術の活用を行いながら、介護予防・健康づくりに更なる効果が得られるための環境づくりに努めます。

(3) 在宅医療看護・介護連携体制の構築

地域の実情に合わせた在宅医療と介護の連携体制を構築し、維持・充実していくためには地域の目指す姿を考えたうえで、連続性を持った継続的な向上を図る、いわゆるPDCAサイクルに沿って推進していくことが求められています。

そのため宇和島市医療介護連携システム「みさいやネット」の利用活動の促進と円滑な運用を行い、病院・診療所・歯科診療所・訪問看護ステーション・薬局・介護事業所等が患者の情報を共有し、施設や職種を問わず患者に関するすべての医療者・介護者がフラットに情報を共有し、コミュニケーションを可能にすることで、顔の見える地域包括ケアをサポートしています。

実際の医療や介護の現場で
役立てたり、
生命にかかわる
救急搬送時や
災害時に参照します

救急隊
病院
訪問看護
ステーション

「みさいやネット」は、皆様の医療と介護の情報を、
地域の医療機関や介護事業所の専門職のみで
共有するSNSです

宇和島市医療介護連携システム
みさいやネット

薬局

診療所
歯科診療所
介護サービス
事業所
居宅介護支援
事業所